

柔肌の中で 人妻の 今宵

畠山

桃哉





とあるアパートで
学生生活を
初めて数ヶ月：

僕 河部朝彦
(カワベ アサヒコ)は
大変悩ましい問題に
直面している

友人に話すと
むしろ
羨ましがられたり
するが：

そんなのは
外野だから
言えるのだ…！

その問題とは…

おはよう
アサヒコくん！

ギャル人妻の 3日間

早起きできて
エライっ！

隣りに住んでいる
このギャル…
もとい人妻

縦山 芭
(モミヤマ ハナ)さんの
存在だった…

もちろんウチも
エライっ！

なぐんてね



あたしって
朝弱くてさあ…

これで
並の容姿なら
まだしも…



ちやっかり
オカズにしている

隣の僕の部屋で
丸聞こえなのだ！

とにかくこの夫婦は
ほぼ毎日致して
いるのだがその声の
大きいこと！



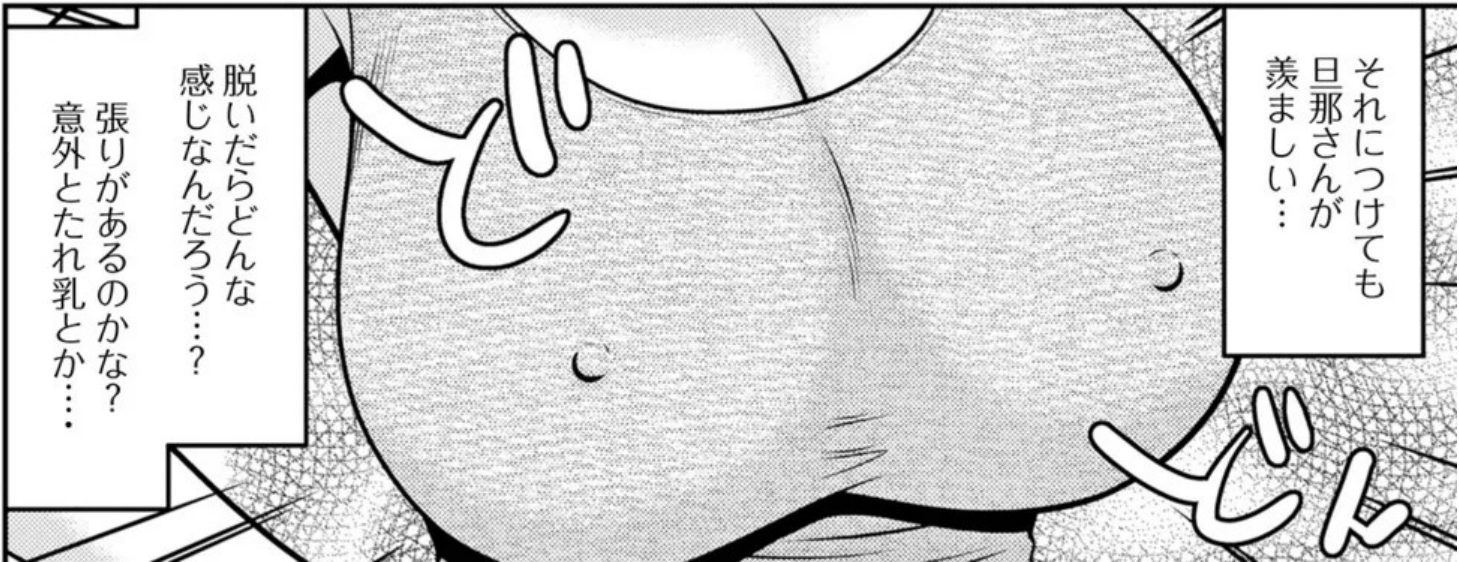
ははは

そりゃ
毎晩のように
やってりやねえ…

ごみ捨ても
ひと苦労なのよ
ねえ…

若い男にとって
どれだけ刺激が強い
男性諸君なら
おわかりいただける
だろう

この美貌…
この身体つき…



脱いだらどんな
感じなんだろう…？
張りがあるのかな？
意外とたれ乳とか…

それにつけても
旦那さんが
羨ましい…



あっ!!



いくら私が
セクシーだからって
胸をジロジロ見るのは
まずくない?

ちよっと



変な目で
見るから
仕返ししく

も 縦山
さん……っ!!



そんな
ある夜……



じゃあね
学生さん
勉強頑張って



……!!

珍しいな
今日はやけに
静かだぞ……!!



……
最近の僕は
終始こんな感じで
隣の人妻に
振り回されっぱなし
なのだった……





私が…
毎晩せがむ
ものだから…

実際は
私を避けるため
無理やり仕事を入れた
感じなのよねえ…

…



とは
いつてもねえ…

アサヒ



アサヒコくんさあ…
今晚空いてる？

…

チラッ



旦那がそういう
つもりなら
こっちも気兼ねなく
火遊びできるって
いうかく

私は
とてもじゃないけど
そんなに我慢
できないし〜

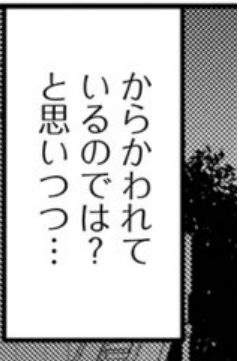
あの…
榎山さん…
ええ…っ!?



旦那が帰ってくるの
3日後なんだねえ

はいっ…!?

アサヒ





茶髪の天使が
僕の前に
現れた…!!

ふふ…
おまたせ

興奮して
ずぶ濡れに
なっちゃった…



ドアが
開いてるって
ことは…

アサヒコくんも
おkってことで
いいのよね?



君が壁越しに
想像してた
私のからだ…



堪能して…



ほらみて
アサヒコくん

久しぶりに
旦那以外の男を
受け入れるって
考えてたら…



大きいし
硬いし…

いいわね
アサヒコくんの
オチンチン

あま♡

あま♡

あま♡

あま♡

あま♡



カリ高なもの
サイコク

これなら全然
楽しめちゃう

あま♡

あま♡

あま♡



油断すると
射精そう
です……っ

気持ち
良すぎて……



いいのよ
遠慮しなくて

ふふ……



ほら
ガン見してた
おっぱいも
触って……!



アサヒコくんも
私のマンコ
気持ちいいでしょ？

顔に書いて
あるもん

あっ♡

あっ♡

あっ♡



いっぱい
気持ちよくなって
いっぱい射精してね

そのほうが私も
嬉しいし！

あっ♡

あっ♡

あっ♡

あっ♡



はっ♡

めちやくちや
やばくて
興奮して…っ

はっ♡



しかもこれ
浮気セックス
だよ…!!

背徳感
バリバリ
じゃん…っ

あっ♡

あっ♡



オマンコ
熱くなっちゃう…っ

アッ

アッ



はあああん…っ

アッ

アッ

アッ

アッ

これは…
凄すぎる…っ

あまっ♡

あまっ♡

旦那さんが
距離を起きたがる
わけだ…っ

僕じゃ一晩でも
持つかどうか…

いいわ…
もっと突いて
アサヒコくん…っ！

はっ♡

はっ♡





縦山さんの
オマンコ
どうなって
るんだよ…!?

ヤバいくらい
気持ちいい…っ



きつい上に
ぬるぬる
うねって…
僕の精液を
根こそぎ
搾り取ろうと
してる…っ



こんなの素人人妻の
オマンコの
レベルじゃないって…



ちんぽが
溶けそうだ…っ

ああん…っ

ああ…っ

とはいえ
こんな気持ちいいこと
止められる
わけもないし…

あと3日…

僕は
耐えられるのか…!?

すいません
もう行きそうです
縦山さん…っ

ハナでいいわよ
アサヒコくん

いいわ
君の濃いザーメン
私に頂戴…っ

ああ…っ
射精する…っ!





ね？
そうでしょ
アサヒコくん？



やっぱ本物には
敵わないなあ…

ウチも
まだ若いつて
思ってたけど…



こうして
僕たちは3日間…

暇を見つけては
セックスしまくった

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



人妻が
夫の前では
全力でイケない
理由



いいですよ
ヒカリさん…！
思う存分
感じてください…！



ああ…九鬼クン
すごく気持ちいい…っ！



僕も気持ちいいですから…!

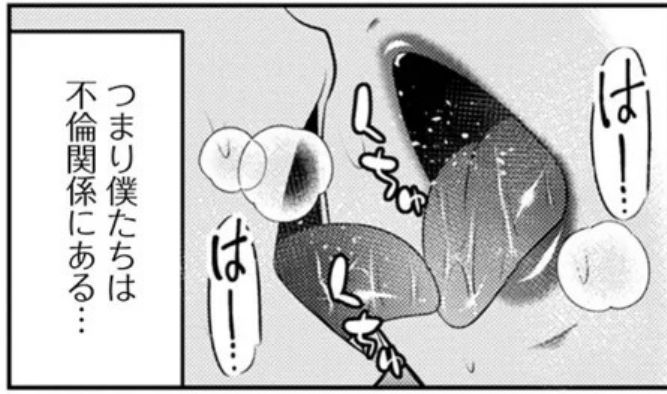
彼女は既婚者で…



ごめんなさい
こんなことに
巻き込んでしまつて…

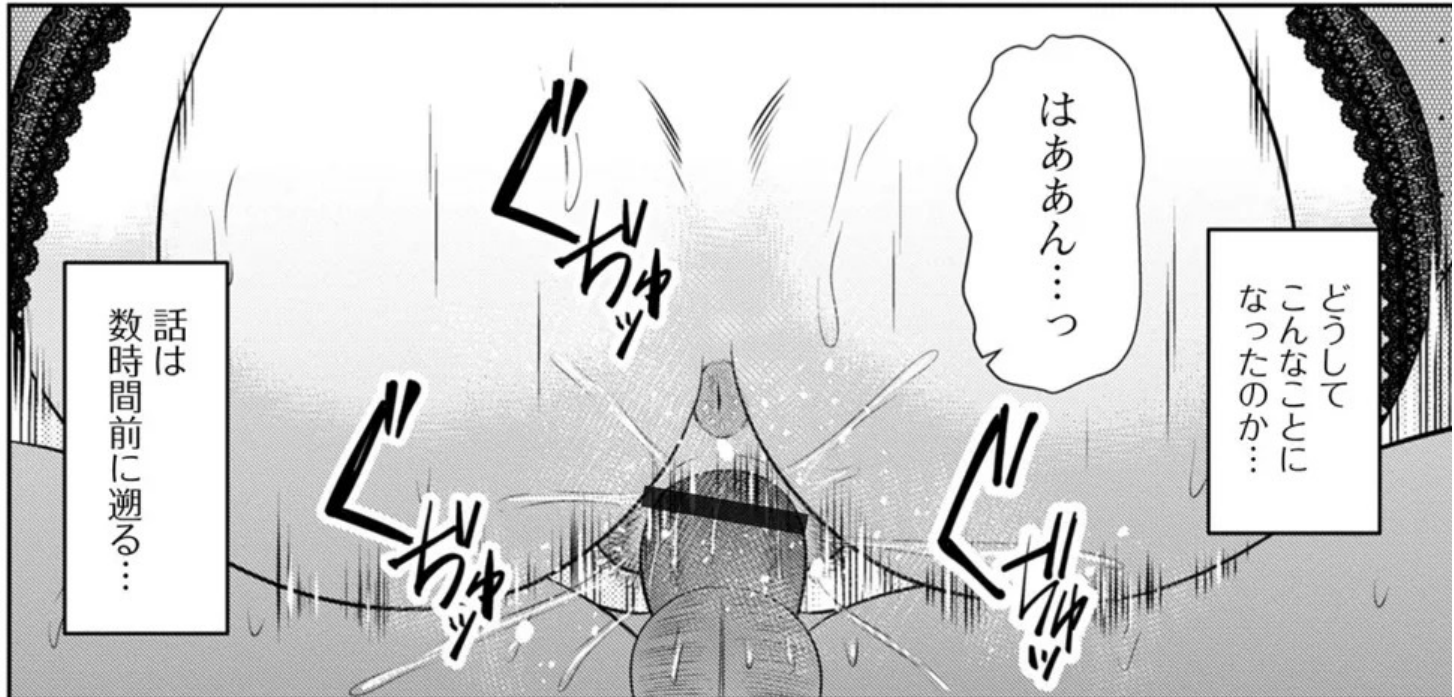
別に
構いませんよ

僕は九鬼優樹ゆうきで
彼女の名前は
長束日花里ながつかひかり



はー!!

つまり僕たちは
不倫関係にある…



はああん…っ

どうして
こんなことに
なったのか…

話は
数時間前に遡る…



こっちよ
九鬼くん



数時間前
某所





僕は彼女に憧れる
副会長役…



彼女は
校内で評判の
美貌の生徒会長で…



今更ヒカリさんが
僕に何の用だろう…!?

だからこの呼び出しは
嬉しい反面
戸惑いもあった…



今は独り身…
ですけど…!?

お付き合いして
いる方とかも…

えええ…

ご結婚は…
されてませんよね?

最初に確認して
おきたいんですけど…



それで
あの…



嫌なら答えて
もらわなくても
いいんですが…



私を抱いて
いただけないで
しょうか？



じゃあ
恥を忍んで
言うんですが…

もし
よかったら…



は!!??

…
彼女の説明は
こうだった



そのため
夫を愛しているにも
関わらず夫婦での
セックスに満足できず
欲求不満が
溜まってしまい…



ヒカリさんは
興奮すると
大きな声を出す
癖があつて…



夫の前で
その癖を出すのが
たまらなく
嫌なのだという…

最後の手段として
夫以外の相手を
探すことにして…

でも
なんで僕に？

どうせ
浮気するなら
信頼できる人が
いいし…

それに…

僕が
指名されたという
わけだった…

そういう
サービスみたいなのも
あるんじゃないですか？

赤の他人より…

昔いなくなって
思ってた人のほうが…

…

ここまで言われて
引き下がったら
男がすたる

というわけで…

僕たちは
合意の元
不倫関係に
なったのだった…

ヒカリさん…
それ…

キラ

HOTEL



とんでもない
大好物です…!



せっかくなので
九鬼クンにも
喜んでもらおうと
思ってます…

こういうの
お嫌いですか？



あっ…

ん

ぐわぁ

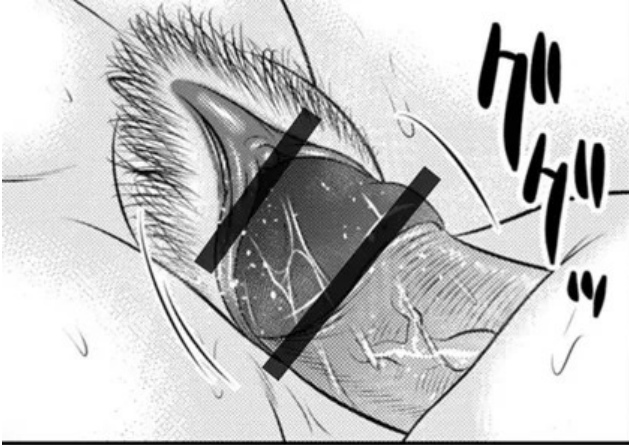


大丈夫です
気持ちよかったら
声を出してくださいね

ん









ああん...
知らなかった...

自分の気持ちを
素直に出すだけで
こんなに気持ちよ
くなれるなんて...!

あふ

あふ

はっ



それに
九鬼クンの
おちんちん...

私のおまんこに
すぐく馴染んで...

すぐにでも
イっちゃいそう...っ



こんなに
気持ちいいなら
もっと早く...
はっ♡

あなたと
結ばれてたら
よかった...!
はっ♡

...ヒカリさんっ
はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡



遠慮なく
声が出るように
なりましたね
ヒカリさん…!!

そんなに
僕とのセックスは
いいですか？

あーん

あーん



もっど…

気持ちよく
なっちゃいます…!

あーん

あーん



目一杯
楽しんでください…!

旦那さんと違う
男のおちんちん…



ああん…
そんな酷いこと
言わないで…

あーん

あーん

あーん







ごめんなさい
私の変な願いに
付き合わせてしまつて...

でもいい経験に
なりました...

私
夫と話し合つて
みようと思ひます

私のこの性癖に
付き合つて
もらえるように...

え?



そうですね
まあソレが
一番ですよ

じゃあこれも
今回限りか...

ただそれは
それとして...

もし
よかつたら...

?



また
お付き合いして
くれませんか?

ね 九鬼クン...!

ということ
僕たちの関係は
まだ続くこと
になりそうだ...!

END

いや〜
ついに買って
しまった

このフィギユア
欲しかったん
だよねえ

お見事!
なかなかの
お値段でしたなあ

柿本は
推しのフィギユア
買わないの?

今度でるやつ
かなり出来が
いいんだろ?

えああ
お金がね…

あら
おかえり
へ〜たくん

バイトしてるとだろ?
推しに使わないで
何に使ってるんだよ?

いやまあ…

ははは…

確かにバイトで
お金は
貯めている…

それを何に
使っていると
いえば…

隣の人妻は
サキユバズに違いない!



ふふ… 私達が合鍵作った仲だっってことでしょ？

ミヤさんが勝手に作ったんでしょう？



ほ 僕の名前はたへいです！

それよりなんで隣に住んでる人妻がいるんですか？



もく そんな怒らないでよへくたくん

すん



ほら こっち見て

僕がグッズを揃えられない理由…



僕がバイト代を全部この女性につき込んでるから…



それは…

ああ…っ



つまり
僕はこの人妻を
お金で買っていて…



もう
カチカチ…

まき
♡



あ…っ

さゆっ



僕のバイト代はすべて
この人妻に
吸い取られていたのだ

ほら
へくたくんも
脱ぎなよ…!?

慰めて
あげる…!

んん



おおっ

あっ♡

あっ♡

あっ♡

一応言っておくが…

これは僕が望んだ
関係じゃない…

彼女が無理やり
関係を迫って
きたのであって…

クキッ

クキッ



ああ…っ

しゅっ

しゅっ

しゅっ

とても断れる
ものじゃない…!



…って
仕方ないじゃ
ないか

こんな美人に
誘われてしまったら…

クキッ

クキッ

クキッ



すごい
カッチカチよ

はっ♡

はっ♡

もう準備
オツケーみたいね...!

はっ♡

ハキッ
ハキッ
ハキッ



後で入金...

よろしくね

ハキッ



じゃあ
そろそろ
挿入れちゃおう
かな



...って
その前に



ははやく...

わ分かり
ましたから...



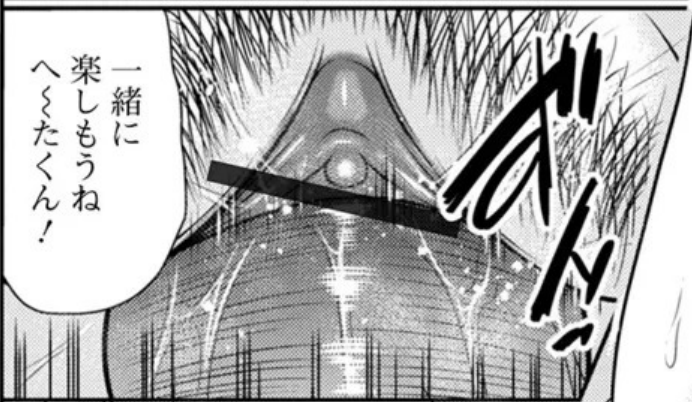
今月も色々
入用でえ...

大変なのよ...
だから...ね?

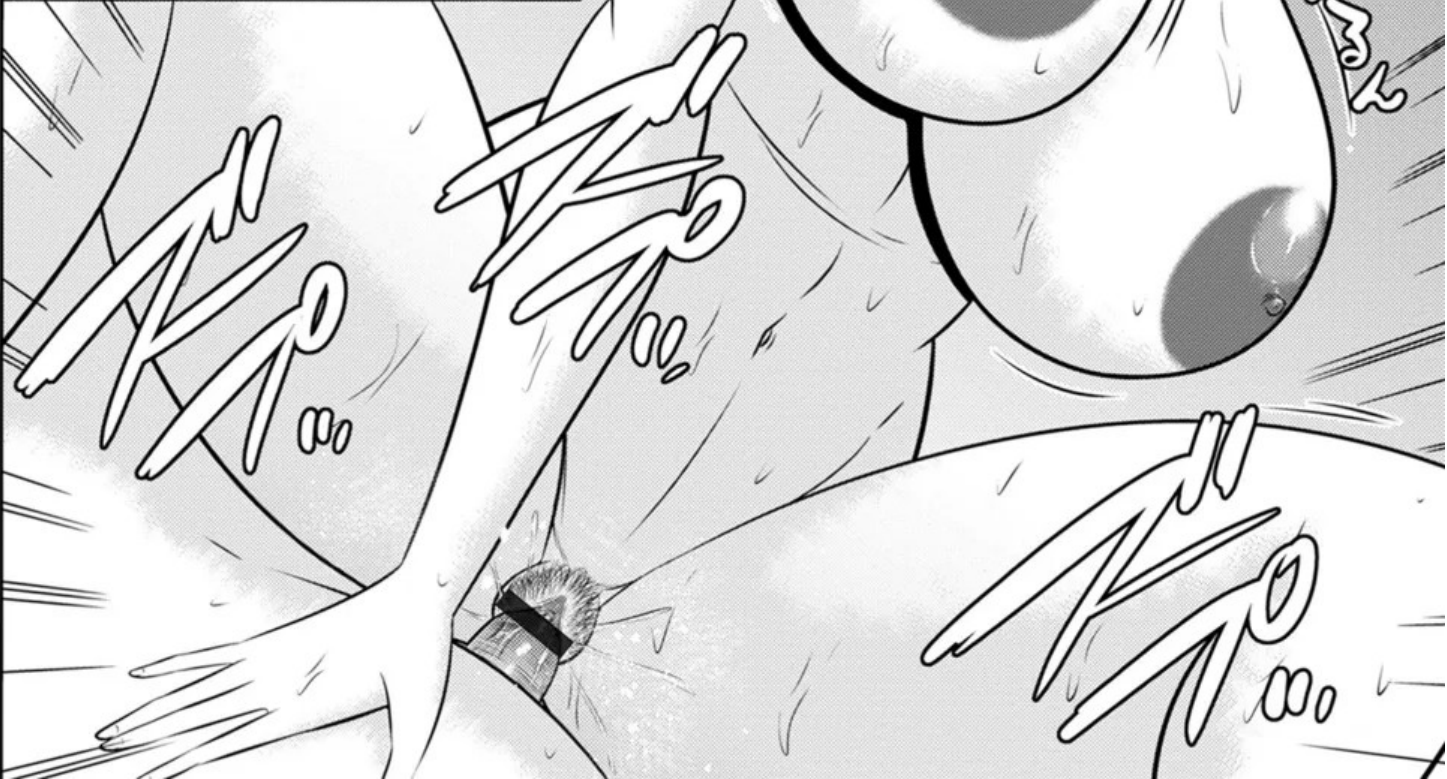


じゃあ
合意ができたと
いうことで...!

はい



一緒に
楽しもうね
へくたくん!



ああ...

だるん



ほんとおっぱい
すきよね
へくたくん

ああん…っ

はっ♡

はっ♡

はっ♡

はっ♡



そーゆー
子供っぽいところが
かわいいんだけど

いいわよ
いっぱい感じて
頂戴…!

まっ♡

まっ♡

まっ♡

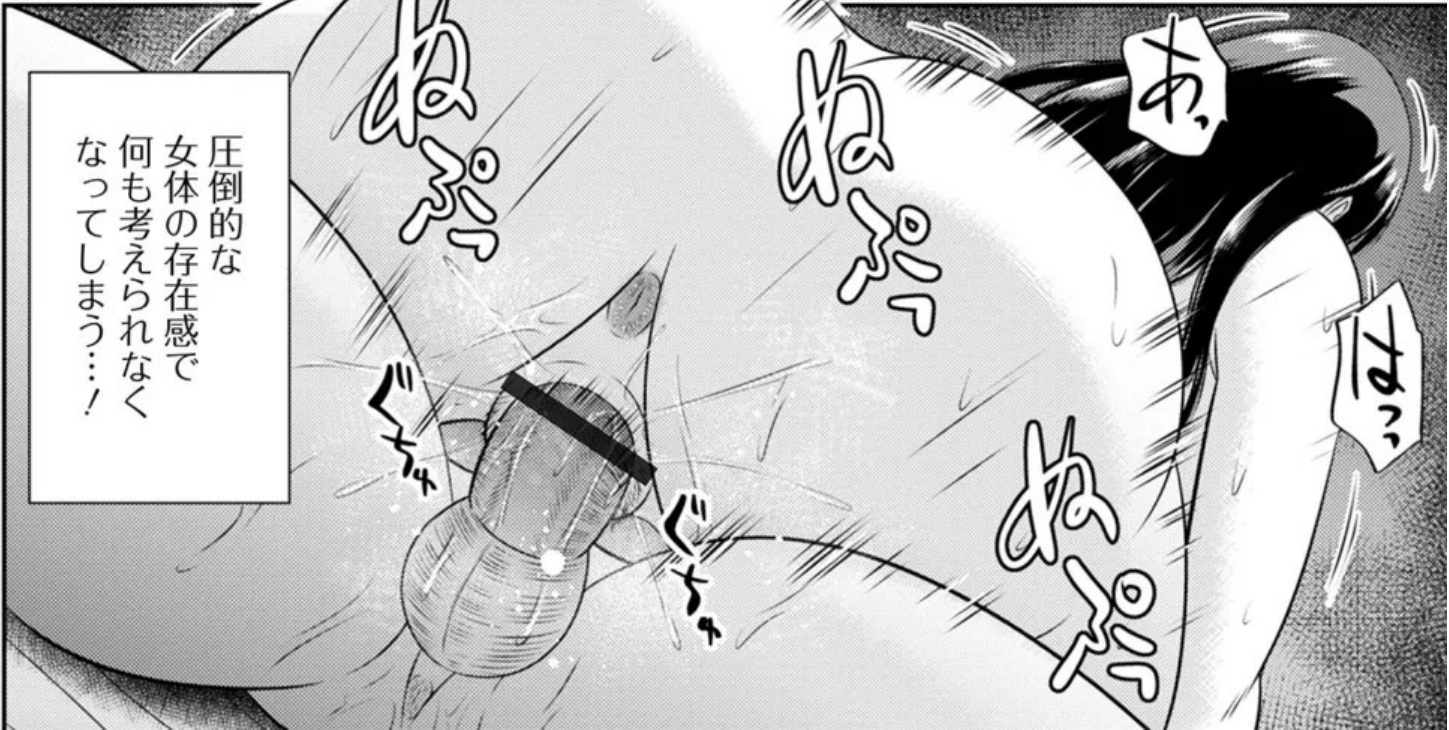
まっ♡



…始まる前は
いろいろ
悩んだりしたけど



実際
ミヤさんと
体を重ねて
しまうと…



圧倒的な
女体の存在感で
何も考えられなく
なってしまう…！

グッズと違って
あとに残らないけど…



この瞬間の
ためなら…



全然アリだ…!



ああ…
ミヤさん



めちゃくちゃ
気持ちいいい…っ!





.....
ごめんね
へくたくん

ミヤさん...!?



ああ...
いいわっ

隆奥まで
届いてる...っ



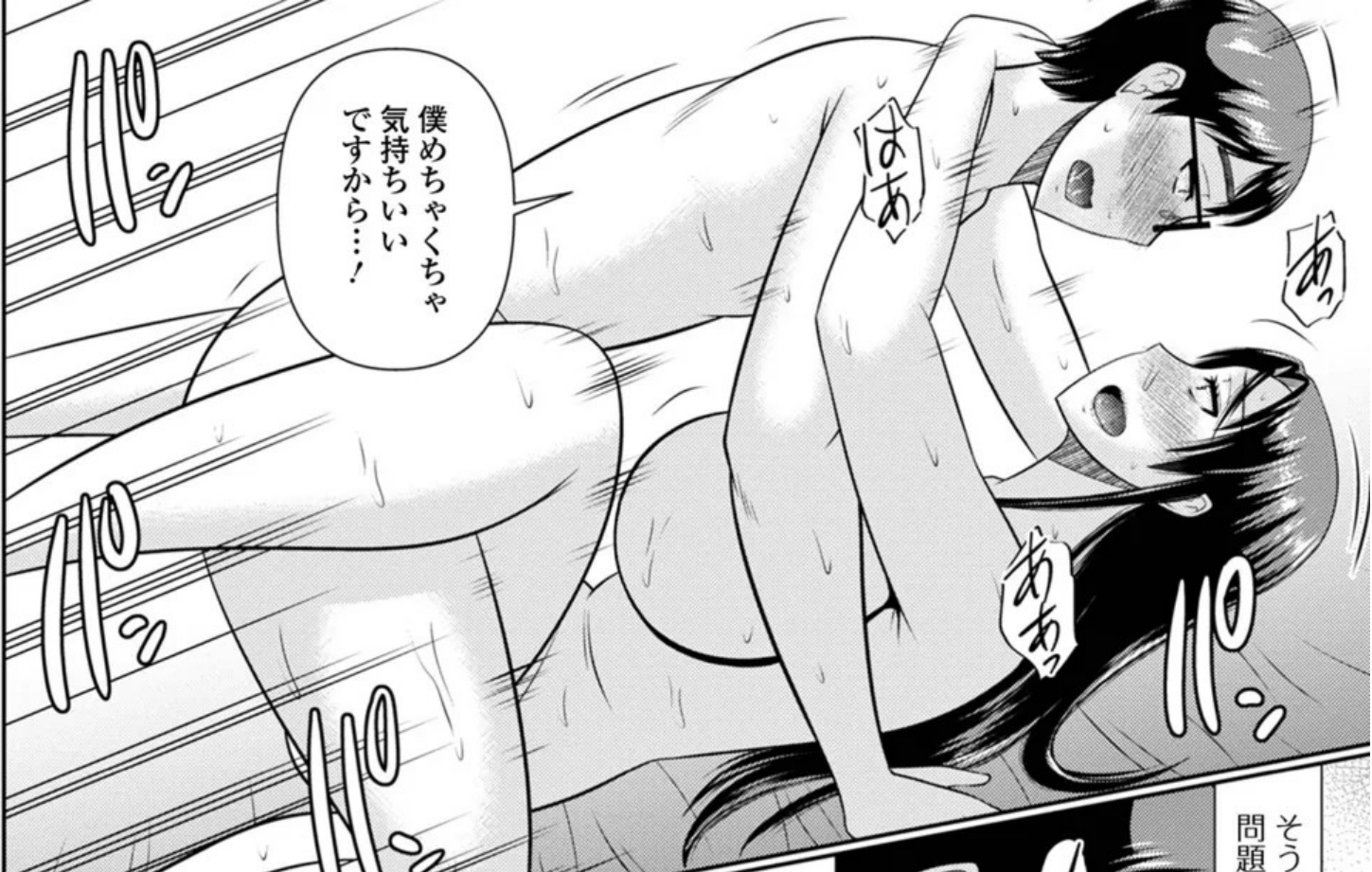
君みたいなの
純朴な男の子
掴まえちゃって...



本当なら
大人相手に
すればいいんだけど...

いろいろ
めんどくさくって...





僕めちゃくちゃ
気持ちいい
ですから…!

そう
問題なのは…

僕が金欠な
ことであって…

早く大人になって
カネを稼いで…

アニメグッズや
ゲームや…
女につき込みたい…っ



レイさんみたいな
女に…!



あふうん…っ

はああ…っ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



いいわ
へくたくん
もつと突いて
頂戴…っ

あゝ

あゝ



あゝ

あゝ

あゝ



ああん
またおっぱい
揉んでる…っ

はあ

はあ



あああ…んっ
へくたくんのおちんぽ
気持ちいい…っ！



いいわよ
へくたくん！



ミヤさん…
もう射精さう
です…っ



一緒…っ

イク…っ





気持ちいいから
いいけど...

結局いつも
ミヤさんの
ペースなんだよなあ



旦那来る前に
戻っておかないと
まずいから...

じゃあまた
今度ね
へ〜たくん

あと振込
よろしくね

あはい
それじゃ...

たへい
なんだけど...
まあいいや



キラ



.....

本来なら
ファイギアが
飾られているはずの
ケース

本来ならゲームと
ブルーレイディスクが
山と積まれる予定の
スペース

おおおおお...っ

こうして
僕の苦悩は
続くのだった

がらん...

END



へえ
それは楽しみね

人妻女教師の憂鬱

そう…私たちは
(元ではあるけど)
教師と生徒の間柄で
不倫関係にあるのだ



ごちそう
さまでした



珍しいわね
上木くんが
食事に誘って
くれるなんて

ふふ…
たまには
いいでしょう
先生

今日はこのまま
僕の部屋に
直行ってことで
いいですね



かまわないけど…
やけに念押し
するわね

なにか
あるの？

私の名前は
中平千草
(ナカヒラチグサ)

現役の教師だ



ふふ…
それは部屋に来ての
お楽しみですよ

そしてこの子は
元教え子でフリーターの
上木匡(ウエキタダシ)くん

私がタダシさんと
再会したのは
本当に偶然だったか

積極的に
こういう関係に
なりたがったのは
私の方だった

その理由は
単に若い男との
不倫に興味が
あったというより…

私の性癖にあった



私には教師と生徒の
禁断の関係を
体験したいという
欲望があったのだ

もちろん
リスクを犯してまで
してみようなんて
思わなかったが…

その欲望は
留まることは
なく…



夫相手では
とうてい
解消できるものでは
なかったのだ



職員用トイレ



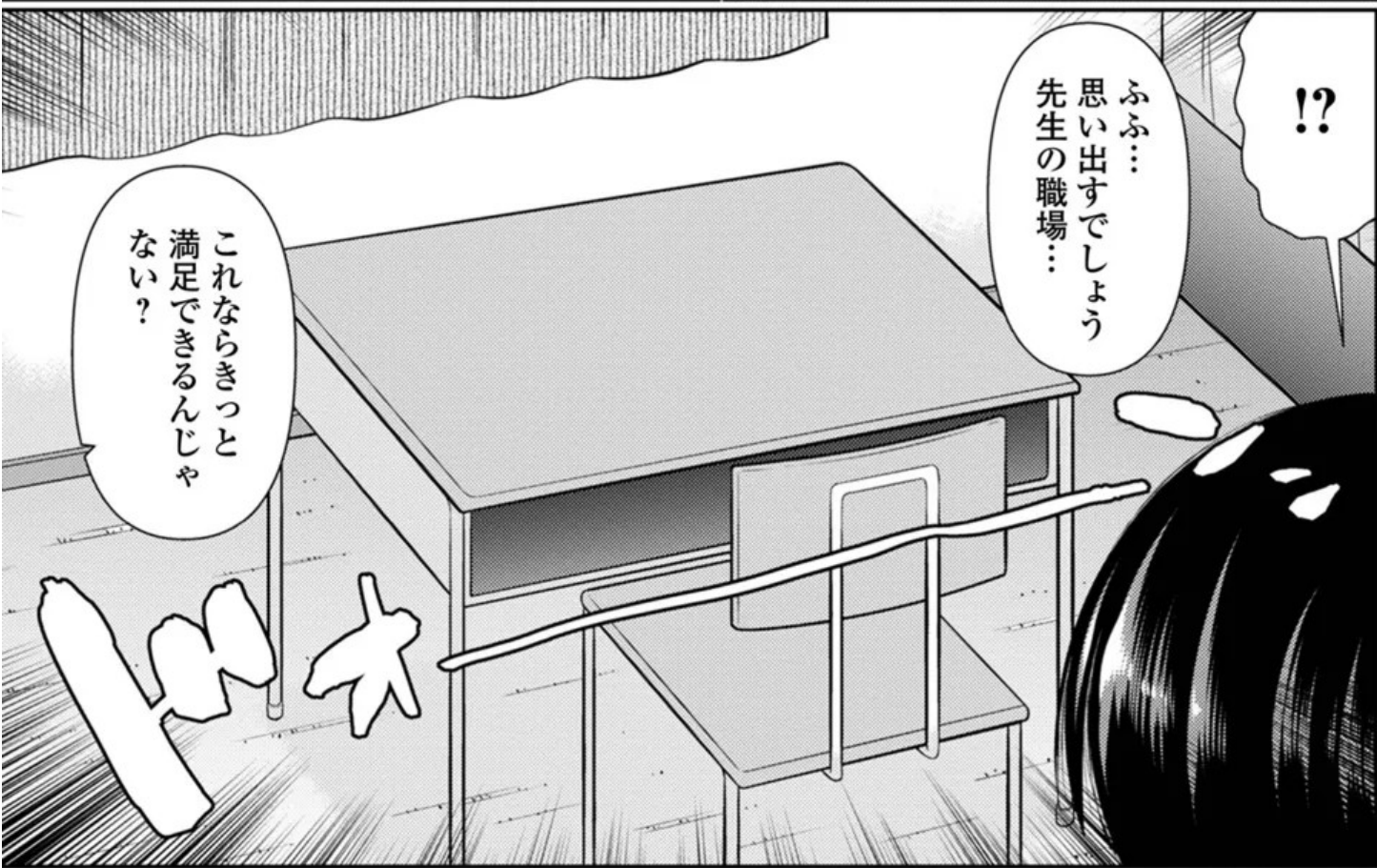
はい
これがプレゼント

まあこんな
かわいい子を相手に
楽しめるだけでも：



期待したような
快感は
得られなかった：

元生徒の
タダシくんなら
あるいは…と
思ったのだけど…



ふふ…
思い出すでしょう
先生の職場…

!?

これならきつと
満足できるんじゃない？

水



いつも
物足りない顔してたから
思い切って買っちゃいました

……

他にも
コスプレ用に
学生服とかも
用意しましたよ

こコスプレ!?

ほら
気分出るでしょう

チグサ先生…!?

…
いつの間…!?

これじゃ授業なんて
受けられません…
どうしたらいいですか?

……

ふふ…

ねえ先生…

ここ…
先生を見てると
つい欲情して
しまって…

ここがこんなに
なっちゃいました

しょうがないわね…

先生が処理して
あげる…

信じられない…
こんな小道具で
めちゃくちゃ
テンション
上がってる…



いつもと同じ
タダシくんのお
ちんちん…



私って
こんな単純な
女だったんだ…



でも
スイッチが
はいちっちゃってる
今だと…



全く味わいが
違ってる…！

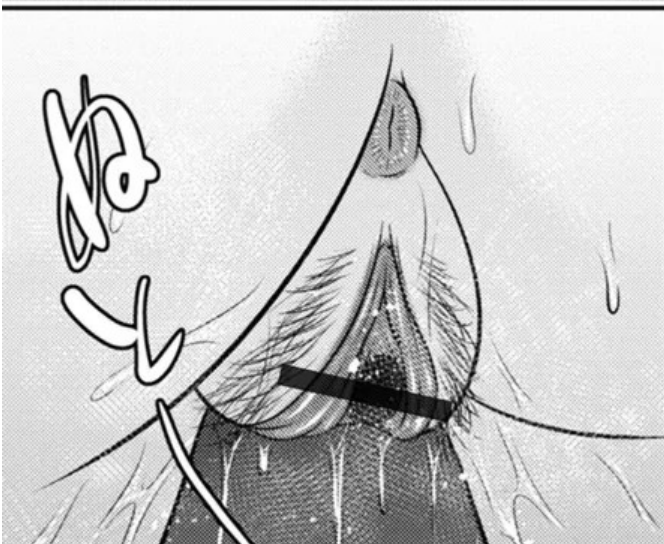
ああ…
ずっと体験したかった
この感じ…！

めちやくちや
興奮しちゃう…っ！



あらら…
珍しく先生のほうが
先にいっちゃっう
なんて…

コスプレの効果
てきめんって
感じっすねえ



ごめんなさい
キミとのプレイ
思った以上に
効いたみたい



でももういいでしょ
これ以上
我慢できそうにないの

えええ
もちろんいいですよ
チグサ先生…!



……



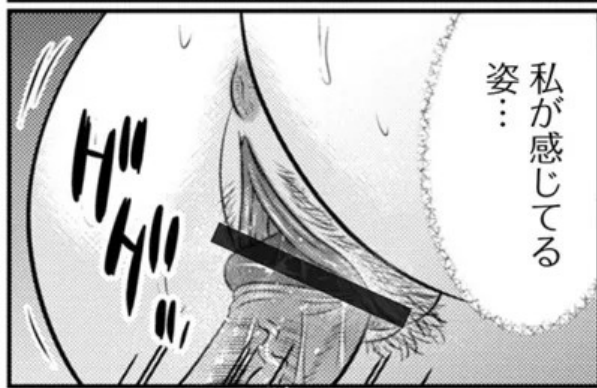
先生今から
みんなの前で
セックスするから…

みんな
見てて頂戴…



今の私…
すごく興奮してる
から…

私の膣内…
きつと気持ち
いいわよ

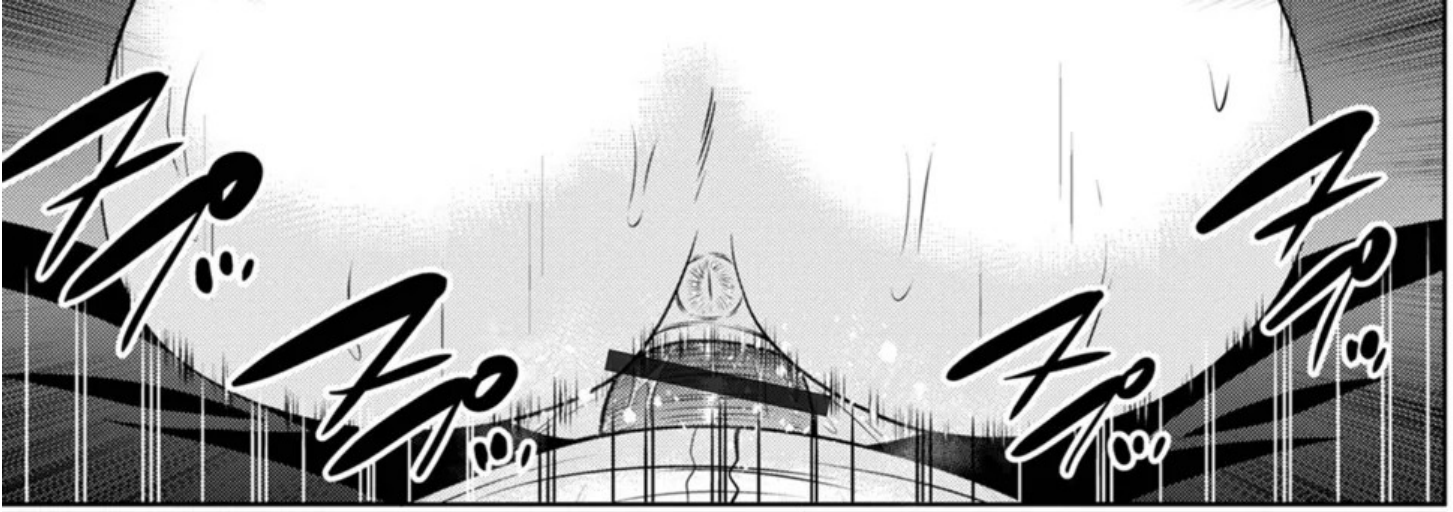


私を感じてる
姿…



ああっ!?

みんなでおカズに
して頂戴…っ!



すげー
気持ちいい
です…っ！



た確かにこれは
凄いかも…



チグサ先生の
腔内…

今までに
ないくらい
うねってます…！



ああ…
ダメ…っ



妄想が
止まらなくなつて
来てる…っ!



私の姿を見て
シコってる生徒を
想像するの…

惨めで
恥ずかしくて…
気持ちいい…っ

これ…
まさに私が
欲しかった
快感…!!

はあ

あ

あ

夫相手じゃ
絶対に経験できなかつた
快感だわ…っ!



はー♡

はー♡

ああ…
めちやくちや
気持ちいい…っ!

タダシくん
本当に
ありがとう…!





それって…
旦那さん相手より
感じてるって
ことですか？

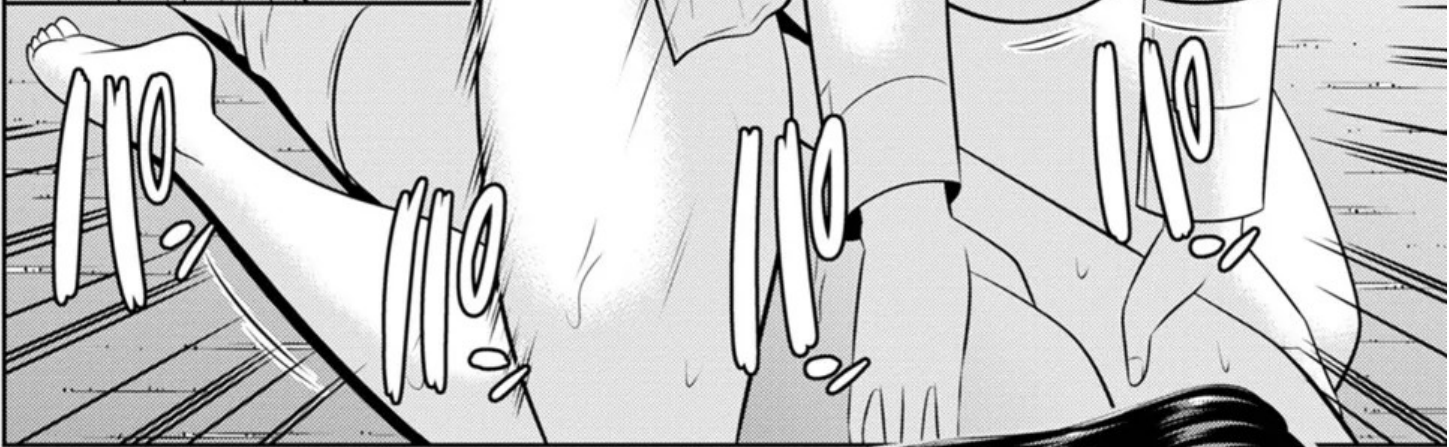


本当に
凄い…っ
こんなに感じるの
人生ではじめて
かも…っ！



タダシくんの
いじわる…っ

ああん
もう…っ



腰が全然
とまらないんです
ものお…っ！

わかるでしょう
だって…



いいわよ…
先生は責任を
持つから…



ああ…
みんなの
おちんちんが
あんなに膨れて…



もうイキたい
のね…っ！

あなた達の
生臭い
ザーメン…

じゅわん
じゅわん
じゅわん



チグサ先生…っ
射精する…っ！



全部先生に
射精して
頂戴…っ！



はっ
はっ
はっ

あ
あ
あ



ああん…っ



すごく
臭くて…
温かい…!



ああ…
生徒のザーメン…



ありがとうね
上木くん
いろんな準備
してくれて…

おかげで
凄く気持ち
良かったわ…

いいんですよ先生
僕もすげー
気持ちよかったし…

…って
いうか先生

いつそ
本当の教室で
やってみませんか？



それって
まさか…

深夜に先生の
本物の教室に
もぐりこんで…

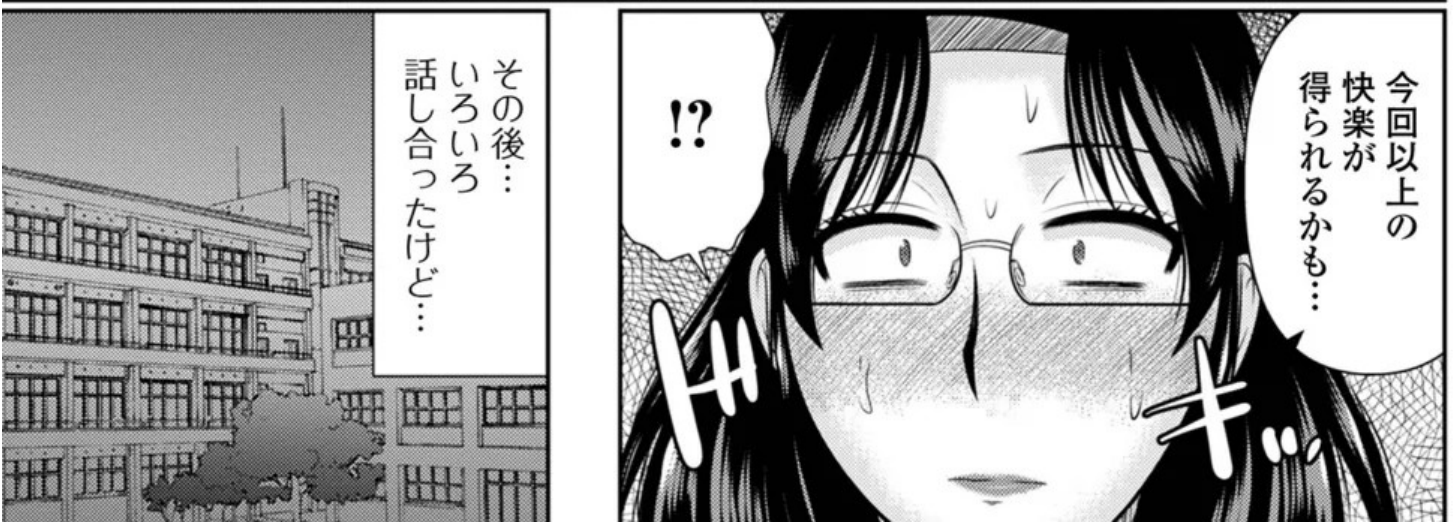
ね？
名案でしょ!?



そそんなの
無理よ!?

なんでですか？
先生の協力がアレば
なんとかなるでしょう？

それに…



今回以上の
快樂が
得られるかも…

!?

その後…
いろいろ
話し合ったけど…



結局やって
しまいました…!

はーっ♡

はーっ♡

はーっ♡

こりゃあ
記念になりますよ
先生



ああ…っ

もう…
絶対内緒
だからね

わかってますよ
先生

私…

この先
どうなるの
かしら…

はーっ♡

はーっ♡

END

僕の住んでいる
アパートは
某テーマパークの
すぐそばにある

なので
地元の友人が
利用させてくれと
やってくることも
しばしばだ

めんどくさい反面
色々貸しを作れるので
できる範囲で対応
してきたのだが：

中には厄介な人も
いるわけで：

テーマパーク好きの 人妻

こんにちわ々
マサオくん！

またきちやった

それがこの人：
辻塚琴絵
(ツジツカコトエ)さん

カチヤ



とにかくこの人は
テーマパークが
大好きで…

僕の父親の
遠縁に当たる人だが
この部屋に来るまで
接点がなかったにも
関わらず…

今では
古い付き合いのように
ほぼ月イチで
やってくるように
なってきた

また旦那さんは
ほったらかし
ですか…?

更に厄介なのが
彼女は
人妻で…

大丈夫よ
もう慣れてる
から

イヤあんまり
頻繁に来られると…

ほ僕にも
彼女がいますし…

大丈夫
黙ってれば
バレやしないって

…

いや
そういう問題
では…

いいから
いいから

!?



君の彼女には
出来ないサービス
してあげるから
大目に見てよ!



彼女の僕への
借りの支払いが
体だということ…



ああ…っ



マサオくん
好きだもんね
私のフェラ







喉奥まで使って…
僕のチンコが
生暖かい粘膜に
包みまれる…っ



いつもの
ことながら…
なんてうまい
フェエラなんだ…っ



ああ…
コトエさんっ



やばい…
出る…っ



君のおちんちん
大変なことに
なってるにやん

…まあ
それはともかく

せつかく
お互い乗ってきた
ところだし…

とつとと一発
やっちやおうか!?

早くお手当
してあげないと…

おん

おん



近所のテーマパークの
メインキャラでもある
白猫のコスプレ…

私にお任せ
だにやん

これがコトエさん
のお気に入りなのだ

あん…っ

おん



もちろんこんな格好
旦那さんには
見せたことはないだろう



夫も知らない
年上の女性の
恥ずかしい秘密を
知っている…



そう…これは
僕だけが知ってる
コトエさんの姿…！



それだけで
僕はたまらなく
興奮してしまうのだ

はああんっ



いいわ
マサオくん…っ

さっき
射精したのに
全然カチカチ…!



そそんなこと
ないですよ

私のせいで
仲違いなんて
気分悪いもの
よかつた
ふふ…



あんまり彼女と
してないの？



そそんなことより
コトエさんの方は
どうなんですか？

旦那さん
ほったらかしで
心配されたり
しないんですか？



私は白猫ちゃん
だから…
そういうの
よくわかんない
にゃん!



なにそれ
反撃のつもり?
大丈夫
あの人私に
惚れてるもの…



それに?
それに…



いやあん
怒らないでえ…!

なんですか
それ…!?

女心

女心



まったく…
お互い危ない橋を
渡ってるというのに
この態度

全く危機感が
ないというか
なんというか…



ただこんなふう
にごまかす
コトエさん
を見ると…

もしかして
僕に対して
本気なのかも…と
考える時がある



そうでなきや
こんなに頻繁に
僕の部屋を訪れる
はずがない

とはいえ…

相手がこの
コトエさん
だから…

ただ単に
テーマパーク
ついでに
遊ばれてるのかも
しれないけど…

あなたの
人妻らしい
豊満な肢体…

ああ…
コトエさん…

ああん

めちやくちや
気持ちいいです…っ

今日は一段と
激しいのね
マサオくん…!

あ、っ♡

あ、っ♡

とっても
気持ち
いいわ…!



はあん…っ
素敵!

おちんちん
膣奥まで
届いてる…っ

ああ…
マサオくん…っ

あ、っ♡



あなたの
おちんちん
最高よ…っ





テーマパークの
拠点も出来て...

若い男の子も
味わうことが
できるなんて...



私ってなんて
ラッキーー
なのかしら...!

ありがとうね
マサオくん...!



いっばい
気持ちよくなつて
頂戴ね…!



その代わり
君のおちんちん
たっぷり扱いて
あげるわ!



ああ…
コトエさん…っ!



もうだめです…っ

射精る…っ!!



END



エロい
下着が
結ぶ愛もある

その日：
暇を持って余っていた
学生の僕は

ふと思いつき
夜の散歩と
洒落込んだ：



流石に
人っ子一人
いないな：



そんな時
だった



…!
!!

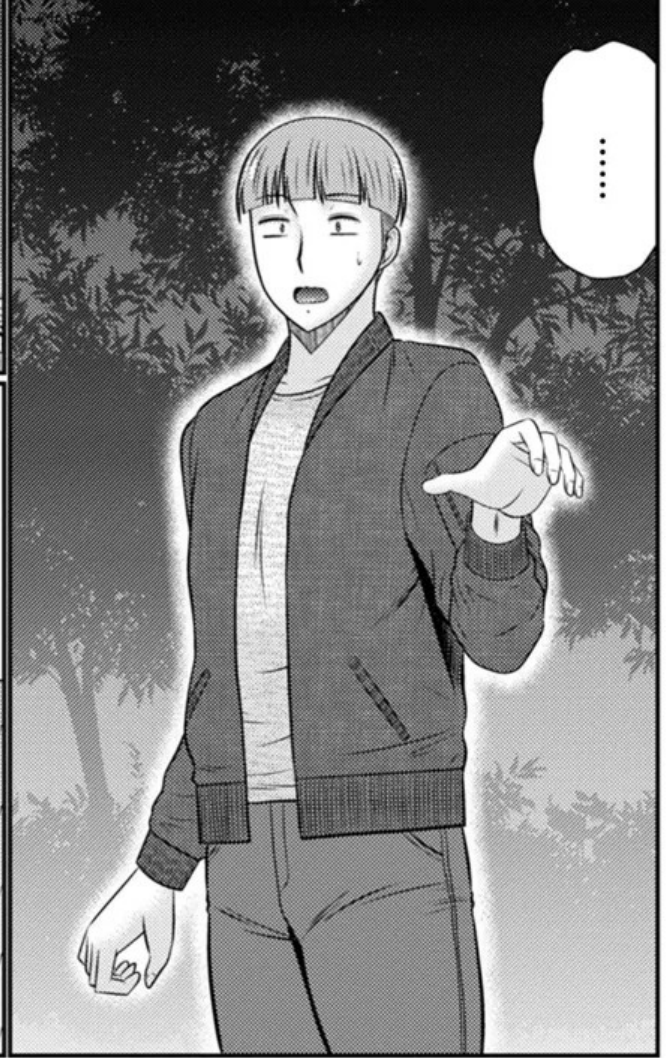
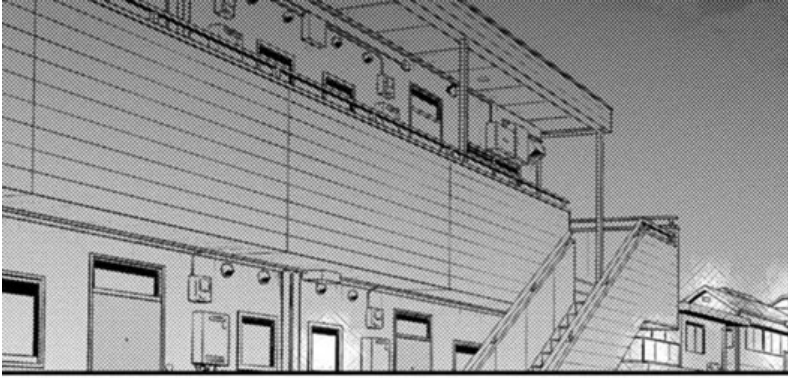


ど派手な格好で
自撮りしている
女性：

あれは…

僕は
この女性を
知っていた…!!





しかし
まいったな…

明日から
どんな顔して
栗生さんと
会えばいいんだ？



栗生さん…!!

さっきは
どうも…



ああの…

!?

ひょい



少しお話
しませんか？

…

そうですね…
じゃあ
僕の部屋で



そのうち
下着をつけた自分を
誰かに見られたくなくなり…

とはいえ
誰に見せる度胸も
なくて…

ああいうふうには
徘徊しては
自撮りなどして
楽しんでいたらと
いうことだった…

このひと…
もしかして…

あの…

さっきの下着
まだつけてるなら
僕相手に見せて
みませんか？

!!

いえ
脅かすつもりは
ないんです

でもどうせ脱ぐなら
公園よりここで
僕に見せたほうが
安全じゃないですか？

それで
栗生さんの気が
済むなら…

悪い話じゃ
ないでしょう？

そうですね…

…

すっ



それで…

公園にいた時のような
気持ちになれましたか？



わかりません…

ただ
恥ずかしいだけの
ような…



もう少し
踏み込んで
みますか

両手を
後ろに！

はい…
ええっ!!



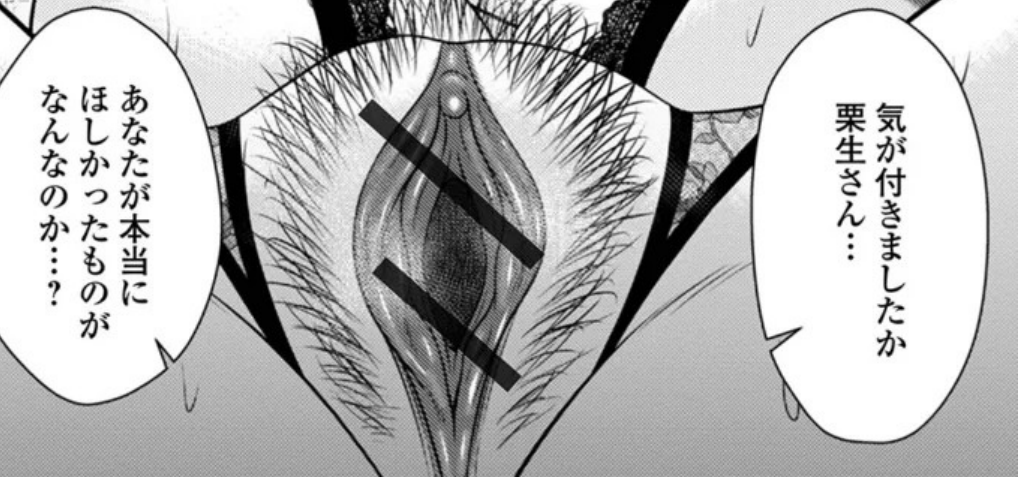
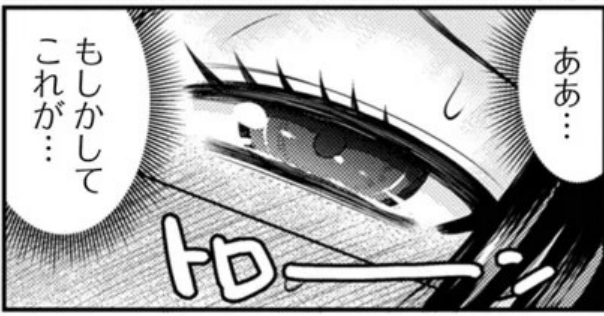
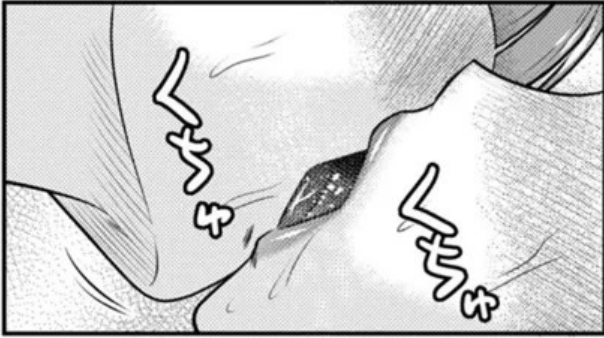
あっ!!



おお…!

これほどの女性を
ほったらかしにするなんて
なんて罪深い人だ
旦那さんは…!







ほおおお…っ

ああ
凄い…っ



膣奥まで
届いてる…っ



なんて遅い
おちんちん
なの…っ！



全然
気づかなかった...!

はー!

はー!



自分が
これほど...



ほおおお...つ

すぐ隣に
こんな素敵な男性が
いたなんて...

はあ

はあ



男性との関わりを
求めて
いたなんて...!

ひぐうっ

はッ

はッ



隣の若い男性と
不倫セックス：

背徳感と快感で
頭がおかしく
なってしまうさう……！



これが私が
本当に望んで
いたことなのね……っ！

ああ……





あなたが本当に
シタかったことが
わかりました？

どうですか
栗生さん？

ああんっ



これからも
僕で良ければ
いつだって...

んあふっ...っ



はぁああうん...っ！

お手伝いさせて
いただきますよ！



私…
ようやく



なんて気持ち
いいのかしら…っ！



ありがとう
ございます
川角さん



自分のやりたいことを
見つけられましたあ…！



あぁ…
お願いします
川角さん…!



あああああ



可愛がつて
ください…!

これからも
ずっと
私のこと…





また来たの
栗生さん？

本当に
好きだねえ…

ガキ

ピニポー！



ごめんなさい
川角さん…

だって
仕方がない
でしょう…

もう刺激のない
生活になんて
戻れないん
ですもの…！

145

END